

魚沼漁協だより

令和8年1月1日

発行 魚沼漁業協同組合
組合長 皆川 雄二

魚沼市佐梨 1105-16
TEL 025-792-0261



あけましておめでとーございます

代表理事組合長 皆川雄二

組合員の皆さま、ならびに日頃より魚沼漁業協同組合の活動にご理解とご協力を賜っている関係各位の皆さまに、心より新年のごあいさつを申し上げます。

近年の人口減少や高齢化等に伴う組合員の減少、余暇活動の多様化等による受入遊漁料収入の減少に加え、特にここ数年は急激な物価高騰等により、本組合の経営は厳しい状況にあります。本組合が引き続き、組合員の利益やその公益的役割を果たすためにも、経営の安定を図ることが課題となっています。このため、昨年十一月に臨時総代会を開き、賦課金や遊漁料金等の変更をさせていただきました。組合員の皆様及び釣りを楽しまれる皆さまにおかれましては、新たなご負担をおかけすることとなり大変心苦しいところですが、何卒、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

また、組合員の皆さまには引き続き、

組合員として魚沼漁協の事業推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、春先は大雪の影響で、河川への雪代水が例年より多く、期間も長く続いたこと、また低水温で推移したことからアユの生育環境は十分ではありませんでした。また、梅雨明け後の七月は高温・渇水傾向で推移したこともあり、釣果は振るわず、また、サケについても一昨年に続き極端な不漁となりました。この不漁は本組合だけに限らず、県内各組合や他県・北海道も同様で昨年来をさらに下回る状況となっています。そのような中にあっても、組合員の皆様にあつては日々川に目を配り、漁場の維持管理と資源確保に努めてこられたことに、心から感謝と敬意を表します。

本年度は、アユについては七月から友釣りの釣果が良くなることを重視し、適期の稚魚放流や、「二次放流」「三次放流」

を行い、遊漁者に楽しんでいただけるよう取り組んでまいります。さらに、イワナ・ヤマメ等溪流魚につきましては指示放流量に限らず、それ以上の放流を目指し、多くの遊漁者の来訪を進めてまいります。また、資源管理の徹底と持続可能な漁業・漁場運営の確立を基本に、行政や関係機関、また組合員の皆様と連携しながらより良い環境づくりに努めていくとともに、遊漁者の皆様に安全で魅力ある釣り場環境を提供してまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が組合員の皆さま並びに関係各位の皆さまにとって実り多い一年となりますよう、そして魚沼の清流にアユが跳ね、溪流魚が元気に行き交う素晴らしい豊漁の年となるよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします



小学生から稚魚放流に

取り組んでいただきました

魚沼市・南魚沼市・湯沢町の各小学校から協力を得て、各地でイワナの稚魚放流を行いました。子供たちは楽しく、興味を持って取り組み、そして放流時ははしゃいで笑顔があふれていました。



イワナの稚魚放流活動が

行われました

石打地区まちづくり協議会と釣具店チロルさんとのコラボイベントとして、魚沼漁協上田分会の協力のもと、登川でイワナの稚魚放流が行われました。きれいな川でイワナが大きく育ち、釣りをする方に、大いに楽しんでいただけるよう取り組んでいます。



大巻小、三用小、塩沢小、湯之谷小、小出小学校ほか

初心者アユ釣り体験教室

七月二十六日(土)と八月二日(土)の両日に、初心者を対象とした「初めてのあゆ友釣り体験」を魚沼市観光協会と一緒に開催しました。

総勢十六名の参加者は、漁協組合員であるガイドから教わりながら友釣りを開始。ほとんどの人に釣果が出て皆さん大変楽しんでいました。



小・中学生限定

初めての川釣り体験

八月二十三日(土)に魚沼市観光協会と連携し開催しました。竿を入れるたびにニジマスが釣れ、子どもたちは大はしゃぎで楽しんでくれました。釣った魚はお持ち帰ります。

組合員親善アユ釣り大会

第六十六回目の大会が八月三日に小出地区を会場に行われました。団体二十二チームと個人三名、合計六十九名の参加でした。団体戦の結果は一位は湯之谷A、二位は小出、三位は東チームでした。本年も組合員の皆さんの参加お待ちしております。

あけまして

おめでとうございます

代表理事組合長 皆川 雄二
副組合長理事 北村 祥博
岡 正昭
理事 田村 計久
井口 一彦
町田 誠
水落 隆行
小幡 武重
高野 一彦
米山 信男
星野 勇二
佐藤 敏充
職員一同

代表 監事
監事